

視点

かかりつけ医機能の 報告事項がまとまる

かかりつけ医機能が発揮される制度の施行に向けて検討していた厚労省の分科会が7月5日、議論の整理を行った。主な検討課題となったかかりつけ医機能報告制度は来年度の施行であり、今後、ガイドラインの策定や法令の公布など準備を進めていく。

機能報告制度では、かかりつけ医機能を医療機関が都道府県知事に報告する。知事は地域の外来医療に関する協議の場にその情報を提供する。協議の場では、医療機関以外の関係者を含む多様な主体が参加し、地域で不足するかかり

つけ医機能を補うための役割分担などを話し合う。制度の枠組は地域医療構想における病床機能報告、紹介受診重点医療機関の明確化のための外来機能報告と類似する。一方、かかりつけ医機能については、国民・患者への情報提供がより重要となることから、あわせてかかりつけ医機能をもつ医療機関を医療機能情報提供制度（ナビイ）で検索できるようにする。具体的には報告事項を決める議論では、分科会委員の間で意見が分かれた。意見集約が危ぶまれたが、5年後の見直し規定を含め厚労省

社会保険旬報

目次

No.2935 2024年8月1日

視点

かかりつけ医機能の
報告事項がまとまる 3

座標

かかりつけ医機能報告で議論の整理
EBPM強化へアクションプラン 4
強化型訪問リハビリの創設を提言
高齢者世帯の3割が単独世帯 5

動向

マイナ保険証利用率に応じて
3段階評価
利用率も今後再設定
—中医協が医療DX加算で諮問・答申 6

2023年は119.3万床
2025年必要病床数に
近づいていると評価
—地域医療構想WGで病床機能報告 10

霞が関と現場の間で④

人事異動と「引き継ぎ」
中村秀一 16

潮流

医療部会が標準型電子カルテを議論 17
協会けんぽの準備金は5兆円超 18
ホスピタルショウ2024を開催 22
中医協が薬価改定の議論を開始 24
長期収載品処方の選定療養で事務連 25
公私病連が60周年記念式典を開催 26

NEWS

日医が役員就任披露パーティーを開催
ほか 27

資料

医療情報取得加算と医療DX推進体制
整備加算の見直し 41

療養の給付の取扱いについて 43

年金の動き 45

編集室・ワードカプセル 46